

OnRobot の電動グリッパーが選ばれる理由



インテリジェントな制御

把持力や開閉位置などのインテリジェントな制御が可能のため、ワークごとに条件をレシピ化でき、1台のグリッパーでの多品種対応や繊細なワークの把持に適しています。また、把持力や位置情報のフィードバックを得ることができるため、品質管理やデータ収集・分析にも最適です。



プラグインで設定時間削減

プラグインで接続してすぐに利用でき、どの製品も、どのロボットでも把持力や速度、把持位置などの調整が簡単にできます。クイックチェンジャーを使ったツールの脱着もワンタッチででき、立ち上げ、段取り工数を大幅削減。

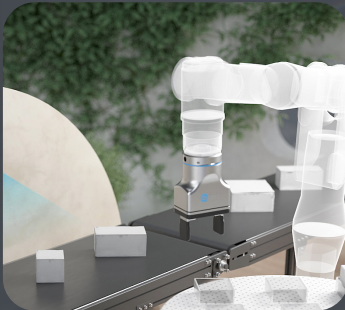


ワンストップ

あらゆるロボットブランドにも適合できる電動グリッパー、自動ねじ締め、マグネットグリッパー、吸着グリッパー、サンダー、ソフトグリッパー、2.5Dビジョンなど幅広い製品をご提供。

適用事例

電子部品のハンドリング



把持力制御が可能で、繊細な部品の把持に最適、クリーンルーム規格 ISO5対応(2FG7)。



工作機械のワーク投入・取り出し



旋盤のワークの投入・取り出しにおいて、一般的な平行3爪空圧グリッパーよりも約5倍のストロークで多品種ワークを1台の3爪電動グリッパー 3FGで把持可能。



パレタイジング



エア不要で平行把持または吸着把持の両方にオール電動で対応可能。



研磨



1,000-10,000RPMの間で回転数をプラグインで調整でき、エア不要で簡単立ち上げ。平面、曲面、球面など研磨、パフ研磨、艶出しに最適。

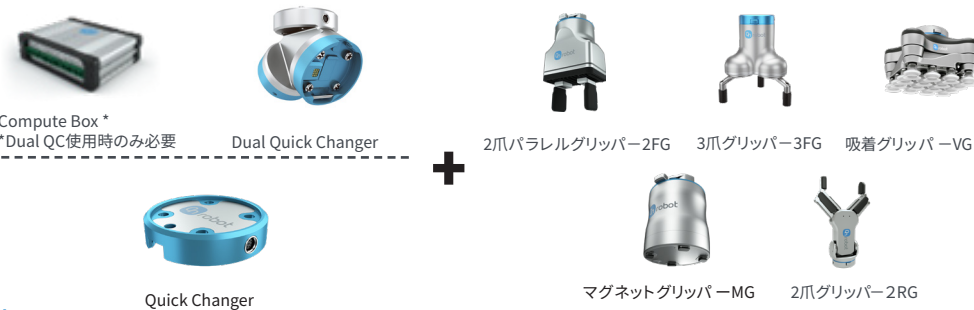


用途別システム構成図

Modbus通信でのシステム構成例

Compute Boxを介することでEtherNET/IPまたはI/Oで制御も可能

マテリアルハンドリング



パレタイジング



研磨



ねじ締



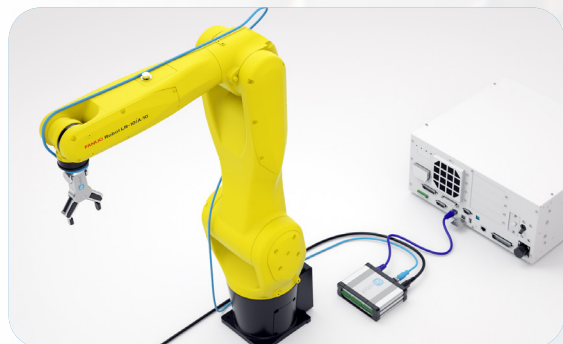
ランドマーク位置検出



プラグイン対応ロボットメーカー



産業用ロボットと組み合わせる場合



グリッパーの取り付け

- 必要に応じてアダプターフランジを取り付けます。
- OnRobot クイックチェンジャー (QC) を取り付けます。
- グリッパー を OnRobot QC に直接取り付けます。

配線

- QC と Compute Box の間にツールデータケーブルを接続します。
- ロボットコントローラーと Compute Box の間にイーサネット通信ケーブルを接続します。
- Compute Box に電源を供給します。

ソフトウェアのインストール

- Compute Box をセットアップします。
- ロボットのIPアドレスを設定し、スキャナーまたはアダプターとして構成し、信号をマッピングします。
- OnRobot の機能をロボットにアップロードします。

操作

- インストールされた機能を使用します。